

桜美林幼稚園自己点検・自己評価の結果について

2016年6月

桜美林幼稚園では、神様から授かったかけがえのない生命が、希望と喜びをもって健やかに育ってほしいと願いつつ、日々保育の業に取り組んでいます。これからも現状に甘んじることなく、更に保育内容の充実を図り豊かで安定した環境を整える為に、これまでの歩みをつぶさに振り返り、検証する取り組みを昨年度に引き続き2015年度も実施いたしました。ここに第8回目となる自己点検・自己評価の結果をご報告させていただきます。

I. 自己点検評価

【実施内容】

保護者アンケート	実施日 2016年1月12日～2016年1月26日
教職員による検討	実施日 2016年5月25日～2016年8月23日
調査・検証支援	株式会社トランストラクチャ

【評価結果】

保護者の皆様からお寄せいただいた評価を総合すると、昨年度同様、今年度も概ねご満足いただける保育内容の結果であったと判断しております。

2015年度には、「みんなの日」を年間10日から15日に増やし、また、復活の丘で遊ぶ回数と縦割り保育の回数を増やしました。さらに、靴下の着用を自由にするという改善を行いました。これらの新しい試みは保護者の皆様からのご意見に基づき、教職員で検討を重ね取り組んだ項目です。アンケートの結果、これらはほぼ賛同を得られたものと考えております。

また、今般はここ数年にわたって続けてきた保護者アンケートの結果を時系列で比較してみました。これを見ると、「保育の時間」、「保育環境」、「保護者への連絡や説明」、「保護者とのコミュニケーション」、「保護者への対応、配慮」、「食事、園バス」等に関する各項目においては高い評価をいただく割合が徐々に上がっており、中期的な改善が少しずつ実を結んできていると判断しております。

これからも長年にわたって築き上げてきた良きキリスト教保育の伝統を堅持し、幼児にとって何が一番大切かの視点を決して失うことなく、保育の業の充実に努めて参りたいと願っております。ただ、決して現状に甘んじることなく、保護者の皆様とのコミュニケーションのあり方、父母の会をはじめとする諸活動のあり方、専門教育の充実等、常にわれわれが取り組まなくてはならない課題と向き合いつつ、お寄せいただいたご意見を真摯に受け止め、更に改善を図るよう努力する所存です。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

【桜美林幼稚園に入園された理由について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
保育方針に賛同できたため	15	9	2	0	0	1	27
保育内容がよいため	18	7	2	0	0	0	27
行事・イベントが適度に行われているため	13	8	6	0	0	0	27
キリスト教の精神に基づいた教育が行われているため	7	12	7	0	1	0	27
モンテッソーリ教育(おしごとのおうち)が行われているため	20	7	0	0	0	0	27
みんなの日(縦割り教育)が行われているため	12	10	4	0	0	1	27
専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)が行われているため	18	8	0	0	0	1	27
保育時間が適切であるため	3	13	10	1	0	0	27
預かり保育があるため	5	12	7	2	1	0	27
教職員の人柄がよいため	25	2	0	0	0	0	27
子どもに対する教職員の数が十分であるため	23	2	2	0	0	0	27
教職員と保護者のコミュニケーションが適切に行われているため	19	7	1	0	0	0	27
園の設備・施設がよいため	12	14	1	0	0	0	27
自然に恵まれているため	12	11	3	1	0	0	27
安全に配慮された環境づくりがされているため	13	10	3	0	1	0	27
園の規模が適切であるため	14	11	2	0	0	0	27
送迎バスがあるため	11	10	4	0	0	2	27
家からの距離が近い	7	4	10	1	5	0	27
職場との距離が近い	2	1	12	2	7	3	27
登園の送り迎えに都合がよい立地であるため	7	2	15	0	3	0	27
入園料・保育料が適切であるため	7	9	8	3	0	0	27
近所での評判がよい	4	10	11	1	0	1	27
給食ではなく、お弁当であるため	6	5	14	1	1	0	27
兄弟が同じ園に通っているため	3	5	16	2	1	0	27
知り合いの子どもが同じ園に通っているため	9	1	8	1	5	3	27
保護者の出身園であるため	1	4	12	0	6	4	27
父母の会、委員会、ボランティア等保護者同士のコミュニケーションの場があるため	2	1	9	2	10	3	27

【桜美林幼稚園の運営について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
お子さまは園で大切にされていると思いますか。	67	27	0	0	0	0	94
園内では安全対策が十分とられていると思いますか。	46	43	2	1	2	0	94
交通安全教室、各種避難引取訓練は安全を高めることに役立っていますか。	48	44	2	0	0	0	94
保育中の病気(発熱や嘔吐など)や怪我などの処置は十分なされていますか。	56	31	4	1	0	2	94
施設内で感染症が発生した場合には、迅速な処置がなされていますか。	61	28	4	0	1	0	94
(アレルギーの該当者のみお答えください。) アレルギーの対応について説明を受けましたか。	17	1	0	2	10	64	94
(アレルギーの該当者のみお答えください。) アレルギーについての相談をすることができますか。	13	6	2	0	1	72	94
(アレルギーの該当者のみお答えください。) 園のアレルギーの対応は十分なされていますか。	10	7	3	0	2	72	94
「預かり保育」を利用していますか。 ※利用している場合は「1」に、していない場合は「5」に○をつけてください。	71	0	0	0	17	6	94
前の間で、「1」を選択された方に伺います。 「預かり保育」は安心して預けられる体制になっていますか。	59	13	0	0	0	22	94
担当の教職員は、お子さまの良いところや個性を認めていますか。	64	30	0	0	0	0	94
園の生活において、身近な自然や社会と十分に関わっていますか。	58	32	3	1	0	0	94
園では、お子さまの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・遊び等が行われていますか。	57	34	3	0	0	0	94
園には、お子さまの発達や意欲を促すような遊具・教材が十分に用意されていますか。	60	30	3	0	1	0	94
園では、集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか。	62	30	2	0	0	0	94
園では、あいさつなど、基本的な生活習慣が身につくように指導していますか。	64	29	1	0	0	0	94
園の生活において、自分のことは自分でするなど、自立への指導がなされていますか。	64	30	0	0	0	0	94
園での行事は楽しく、子どもの成長に役立つものになっていますか。	69	23	2	0	0	0	94
お子さまが園の中で落ち着いて過ごせる雰囲気がありますか。	62	29	0	1	2	0	94
お子さまは登園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか。	68	21	5	0	0	0	94
キリスト教の精神に基づいた教育に満足していますか。	49	37	8	0	0	0	94
モンテッソーリ教育(おしごとのおうち)に満足していますか。	73	17	4	0	0	0	94
みんなの日(縦割り教育)に満足していますか。	47	40	6	1	0	0	94
専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)に満足していますか。	41	38	11	3	1	0	94
お子さまの様子について、保護者への連絡対応は十分にされていますか。	45	42	6	1	0	0	94
保育中の発熱や怪我などの処置、保護者への連絡対応については十分ですか。	52	36	4	1	0	1	94
施設内で感染症が発生した場合には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか。	65	24	3	1	1	0	94
園からのたよりやその他の方法で、日々のお子さまの様子や気持ちを知ることができますか。	42	41	8	3	0	0	94
園からのたよりやその他の方法で、指導計画やその内容を知ることができますか。	42	45	7	0	0	0	94
園からのたよりで、必要に応じた感染症や健康のお知らせは役に立っていますか。	41	46	4	2	1	0	94

【桜美林幼稚園の運営について（続）】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
子育てなどについて、家庭と園に信頼関係があると思いますか。	51	34	7	1	0	1	94
要望や不満は園に対して言いやすいですか。	37	35	14	8	0	0	94
お父さまの気持ちや子育てなどについて、教職員と話したり、相談することができますか。	50	31	11	2	0	0	94
園は要望や不満などにきちんと対応していますか。	50	32	8	4	0	0	94
保護者が大切に考えていることについて、教職員は話を聞く姿勢がありますか。	57	30	6	1	0	0	94
園運営の基本的な考え方について、説明を受けたことがありますか。	41	48	3	1	1	0	94
園の運営方針や保育に関する基本的な考え方は賛同できるものですか。	45	43	4	2	0	0	94
園の指導計画やその内容は適切なものであると感じますか。	47	42	5	0	0	0	94
園の方針・計画に沿った教育が行われていると感じますか。	48	41	5	0	0	0	94
教職員は、保護者やお父さまに関するプライバシーを守っていますか。	48	36	6	2	0	2	94
保育参観、親子触れ合いの会、ボランティア活動などは有意義なものとなっていますか。	48	38	6	2	0	0	94
月一回開かれる父母の会は有意義な内容ですか。 (父母の会で扱ってほしいテーマがありましたら自由意見に記載をお願いします)	29	43	13	7	0	2	94
父母の会の開催頻度は適切ですか。 (希望する開催頻度が具体的にありましたら、自由意見に記載をお願いします)	23	36	21	10	2	2	94
行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていますか。	30	40	16	6	2	0	94
委員会活動(運営・バザー・運動会・ヤング・卒対)に参加したことがありますか。	87	0	0	0	6	1	94
毎月発行の「月のおたより」は読み易いですか。	42	45	4	1	2	0	94
毎月発行の「学年だより」の他にクラスの様子報告のおたよりがあると良いと思いますか。	38	32	16	5	3	0	94
毎月発行の「たのしくたべようニュース」は有益だと思いますか。	25	42	22	3	2	0	94
毎月発行の「ほけんニュース」は有益だと思いますか。	25	48	18	1	2	0	94
每学期発行の「おしごと」のおたよりは有益だと思われますか。	44	42	5	0	3	0	94
年1回発行の「桜美林幼稚園だより」は紙面のリニューアルによって読み易くなりましたか。	21	49	20	2	0	2	94
みんなの日を年間10日から15日に増やし、復活の丘で遊ぶ回数と縦割りの回数を増やしたことは良かったと思いますか	52	25	4	0	2	11	94
靴下着用を自由にしたことは良かったと思いますか	41	21	20	0	1	11	94
お弁当を楽しみながら食べていると思いますか。	45	42	4	1	0	2	94
毎日のお弁当作りは大変ですか。	7	29	22	21	13	2	94
時には給食があっても良いと思いますか。	27	34	12	6	13	2	94
現在のバス乗降場所や園バスの体制・対応は適切に行われていますか。	34	37	7	4	2	10	94
園を総合的にみて満足されていますか。	63	28	1	0	0	2	94

II. 財務の状況

2015 年度決算から学校法人会計の枠組みが変更されました。このため、本園の収支は、大きく「教育活動収支」、「教育活動外収支」ならびに「特別収支」の 3 分野に分けて示されます。

最も重要な「教育活動収支」においては、事業活動収入が約 8070 万円であったのに対し、事業活動支出が約 1 億 3604 万円となりました。教育活動収支のうちの事業活動収入とは、保育料、入園金、国庫からの補助金など、昨年度 1 年間に本園が受け取った収入の合計、事業活動支出とは、教職員の人件費、消耗品費など、昨年度 1 年間に本園が支払った、本園の運営に不可欠のさまざまな支出の合計です。この分野では差し引き 5534 万円の支出超過となりました。

なお、「教育外活動収支」においては約 13 万円の収入超過、「特別収支」においては約 29 万円の収入超過となり、3 分野全体の合計では約 5491 万円の支出超過となりました。

引き続き厳しい財政状況が続いておりますが、園児の保育環境を改善していくための支出は他の項目の節約を図る不断の努力の傍ら何とかして捻出していく所存です。幼児を育む業は、神様から負託された思い使命であると認識し、これからも更なる改善を図っていきます。

【桜美林幼稚園事業活動収支】

教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	46,916,000
		授業料	34,750,000
		入学金	5,005,000
		施設設備資金	770,000
		教育充実費	6,391,000
		手数料	170,000
		入学検定料	170,000
		証明手数料	0
		寄付金	587,176
		特別寄付金	360,000
		一般寄付金	227,176
		現物寄付金	0
		補助金	30,182,090
		国庫補助金	0
		地方公共団体補助金	30,182,090
		東京都私学財団補助金	0
		付随事業収入	985,850
		補助活動収入	985,850
		受託事業収入	0
		公開講座収入	0
		免許状更新講習料収入	0
		その他の事業収入	0
		雑収入	1,861,055
		施設設備利用料	466,971
		入学案内書頒布収入	19,000
		その他の雑収入	1,375,084
		教育活動収入計	80,702,171

教育活動収支	続	事業活動支出の部	人件費	99,228,218
			教員人件費	82,180,679
			職員人件費	12,457,030
			役員報酬	0
			退職金	0
			退職給与引当金繰入額	4,590,509
			教育研究費計	16,768,695
			消耗品費	1,987,297
			光熱水費	1,716,472
			旅費交通費	1,516
			奨学費	0
			減価償却費	6,321,776
			通信運搬費	332,698
			印刷製本費	48,707
			出版物費	171,199
			修繕費	985,789
			損害保険料	243,539
			賃借料	61,399
			公租公課	51,330
			諸会費	124,306
			会議費	0
			報酬・委託・手数料	4,425,652
			広報費	0
			雑費	297,015
			管理経費	20,042,548
			消耗品費	778,602
			光熱水費	332,214
			旅費交通費	8,876
			減価償却費	3,965,833
			通信運搬費	96,167
			印刷製本費	96,885
			出版物費	1,981
			修繕費	38,910
			損害保険料	378,718
			賃借料	19,424
			公租公課	185,847
			諸会費	28,865
			会議費	0
			報酬・委託・手数料	13,825,698
			広報費	27,840
			雑費	67,441
			福利費	52,712
			渉外費	17,957
			補助活動支出	118,578
			徴収不能額等	0
			教育活動支出計	136,039,461
			教育活動収支差額	-55,337,290

教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	138,272
		第3号基本金引当資産運用収入	0
		その他の受取利息・配当金	138,272
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	138,272
	事業活動支出の部	借入金等利息	6,360
		借入金利息	0
		学校債利息	6,360
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	6,360
教育活動外収支差額		131,912	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	2,348
		有価証券売却差額	2,348
		その他の特別収入	408,186
		現物寄付	3,186
		施設設備補助金	405,000
	特別収入計	410,534	
	事業活動支出の部	資産処分差額	77,910
		教育研究用機器備品処分差額	77,910
		その他特別支出	38,687
		過年度修正額	38,687
			116,597
		特別支出計	116,597
	特別収支差額		293,937
基本金組入前当年度収支差額		-54,911,441	

Ⅲ. 2015 年度運営の状況

2015 年度も多くの皆様の祈りに支えられて、主の御守りの中で育む業に従事することが許され、無事に 1 年の保育を終えることができましたことを先ずは心からの感謝を申し上げます。

桜美林幼稚園は設立当初からキリスト教精神を大切に守り、キリスト教保育を基盤として日々育む業に取り組んで参りました。2015 年度は、特に本園の特徴である①モンテッソーリ教育②縦割り保育のカリキュラムの内容を更に充実させることに注力し、また学園が所有する恵まれた自然の残る里山（復活の丘）での活動の機会を増やし、その恵まれた自然に触れる機会を通して五感を豊かに養う育みに力点を置きました。幼児期から自然の驚異や環境の大切さ、景観の美しさを感じる心を育み、併せて人間と環境の適切な関係について学ぶことのできる機会は、生きる基礎となる大切な学びであると考えています。

また、幼児教育機関としてこれからも私たちの取り組みが皆さまに評価いただけるよう、教員一人ひとりが現状に甘んじることなく個々の教育力向上にも努め、各自が年間研究テーマを設定して外部研修にも積極的に参加し、その研究成果を発表する機会を設けて全教諭で共有する取り組みも始めました。

2015 年度は、「子ども・子育て新制度」が正式にスタートし、幼児教育を取り巻く社会情勢は厳しい時代を迎えています。たとえどのような時代にあっても、幼児期の教育は人間形成に最も大切な時期の教育であることを全教職員が深く認識し、神さまから授けられた命と賜物を豊かに育み、将来、国際人としてしっかり立ち続けることのできる強さと優しさを育む業に取り組んで参りたいと願っています。

ここに以下のとおり 2015 年度の活動について報告致します。

1. 園児数

収容定員	入園児	卒園児	在園児		年少	年中	年長	未就園児
160	38	41	男児	64	19	21	24	27
			女児	58	11	28	19	29
			計	122	30	49	43	56

※入園児は、2015 年 4 月 10 日入園 ※卒園児は、2016 年 3 月 17 日卒園

※在園児及び未就園児は、2015 年 5 月 1 日現在

2. 教職員数

園長	教頭	専任教諭	非常勤教諭	教育補助教諭	契約職員	パート職員	看護師(兼務)	バス(委託)
1	1	6	6	3	1	4	1	3

※教育補助教諭は、体育講師 2 名、英語講師 1 名

※看護師は、大学保健衛生支援室兼務 ※バス運転手は、株式会社ナルドからの派遣

3. 2015年度に取り組んだ主な事業

(1) 主な年間行事

- 4月：進級式、入園式、イースター礼拝、親子遠足
- 5月：サッカー教室、保育参観、引取り訓練、避難訓練
- 6月：田植え、家庭訪問、父親講演会、サンドイッチ作り、公開保育1
- 7月：年長組一泊保育、夕涼み会
- 8月：私立幼稚園協会主催教職員研修会、夏期保育
- 9月：避難一斉引取り訓練、昆虫観察会、サッカー教室、バザー、公開保育2
- 10月：運動会、稲刈り、お芋掘り、秋の遠足
- 11月：野球教室、交通安全教室、観劇、避難訓練、収穫感謝礼拝、親子ふれあい会
- 12月：クリスマス礼拝・聖誕劇
- 1月：お餅つき、お話の会、個人面談、一日園庭どうぶつ村
- 2月：豆まき、顕微鏡観察会、
- 3月：生活発表会、お別れ会、卒園式、修了式

(2) キリスト教保育の実践

キリスト教保育を実践する上で大切なことは、幼子一人ひとりが、神に与えられた命を喜び輝かせることであると認識しています。たとえ目には見えなくても、主が共にいてくださることを信じ、そのことを感謝できる人となれるよう、礼拝を大切に守り、聖書の御言葉を伝え、祈りをもってその日を始め、祈りをもってその一日を終わる日々を積み重ねました。その積み重ねが、他者を思い、互いに尊重する心は聖書の御言葉によって深く幼子の心に刻まれ、将来、国際人として成長していくうえで大切な礎となると確信しています。

各学年は、以下の通り年間目標を定めて学年毎に礼拝をささげ、またキリスト教精神に基づいて諸活動に取り組みました。

年少：神様を信頼する子どもに育つ

年中：神様が一緒にいてくださることを喜ぶ子どもになる

年長：神様に感謝できる子どもに育つ

特別礼拝：イースター礼拝（4月）、花の日礼拝（6月）、収穫感謝礼拝（11月）

クリスマス礼拝（12月）

(3) 縦割り保育と復活の丘での活動

2014年度までは、縦割り保育を年間10回行い、4グループに分かれて復活の丘へは年に2回~3回行っていましたが、2015年度は縦割り保育と復活の丘で自然に触れる機会を多くするために、活動日を原則毎週水曜日とし、年間15回、天候が許される限り復活の丘での活動を実施しました。自然の移り変わりを肌で感じながら、好奇心や探究心いっぱい自然に親しむ遊びができた1年となりました。

(4) モンテッソーリ教育の充実

生きる力の基礎を築く幼児期に、確かな学力につながる経験を、一人ひとりが確実にける環境を用意して実施することができました。自己選択した活動を通して、発達の鍵となる、集中力を身に付けていきます。

年長組、年中組：原則週 2 日 各 1 時間 モンテッソーリ教育専用施設で実施

年少組：原則週 2 日 各 40 分 園舎の各クラスで実施

ディプロマを持った教師 2 名が中心となってカリキュラムを組み、担任も一緒に活動の提供をしました。

(5) 外部講師指導のカリキュラム

英語：原則週 1 回

体育：原則週 1 回（年長組は大学体育館、年中組・年少組は幼稚園ホール）

昆虫観察：9 月 2 日実施

顕微鏡観察：2 月 24 日実施

(6) 地域貢献プログラム

子育て支援の一環として年間を通じ以下の事業を実施しました。

①父親講演会：日時：6 月 20 日（土）10:30～12:00

講師：桜美林大学教授 山口創教授

タイトル：「父親が子育てする意味は？」

②秋の芸術鑑賞会：日時：11 月 5 日（木）10:30～12:00

講師：桜美林大学生涯学習センター講師 小澤由佳先生

タイトル：ブラームスの世界 ～音楽に隠された慕情と祈り～

③園庭開放：原則毎週水曜日 13:00～15:30

(7) プレクラス（未就園児クラス）の開設

年々減少傾向にある園児を安定的に確保するために、昨年度と同様に未就園児対象のプレクラスを開設しました。プレクラスは募集を 3 月に開始し、56 名の幼子と保護者の方をお迎えできましたことは園としての喜びでありました。参加者の多くは、幾つかの園のプレクラスをかけ持ちをされていたようですが、63%の参加者に入園していただくことができ、プレクラスには参加されていなかった兄弟関係も含めると約 70%の方が、早い段階から本園の教育理念及び環境を体感し、他園と比較検討した上での入園であったと考えています。また、年度後半に実施した 5 回の準備会も入園に向けて親子共に安心感を深めていただく機会となりました。

(8) 預かり保育

本園では、子ども子育て新制度の保育短時間（8 時間）の区分を目安に、保育前後の預かり保育を設定していますが、通常の預かり保育に加え、2014 年度より夏休み期間中の預かり保育を開始しました。2015 年度は学園の一斉休暇と土日以外の夏休み期間

(7月21日~8月31日)の23日間開設し、利用者の合計は180名となり前年度と比べると75名の利用者増となりました。(2014年度は105名)

近年、町田市では幼稚園児を持つ主婦のパート就労が増加しているとのデータがありますが、教育部分を大切に守りながらも、子育て支援の観点から長期休暇中の預かりは今後も必須との結論に至り、2016年度以降も継続していく方針です。

(9) 教育環境の整備

2015年度は、園児の安全、環境整備のため非構造部材耐震対策工事として窓ガラス飛散防止フィルムを全窓ガラスに施工しました。また、学校安全推進事業については、非常通報装置(学校110番)を新しくしました。

(10) 安全安心の確保

園庭遊具の定期点検を4月、学校保健法に定められた定期健診を4月と5月に実施しました。

(11) 大学との連携、協力

教育実習生は毎年度、複数の大学から受け入れています。桜美林大学からは保育専修コース履修学生を6月と11月各2週間、教育実習生として受け入れました。また希望者によるモンテッソーリ教育及び保育現場の見学の受け入れ、大学主催の保育専修生発表会「保育フェア」への参加、日本語プログラムの外国人留学生に園児との交流体験の機会を提供、生涯学習センター「読み聞かせの会」の講座受講者を対象に発表の機会を提供等、学園内での連携を更に深めることのできた1年となりました。

以 上